

国立研究開発法人科学技術振興機構リサーチコンプレックス推進プログラム  
「世界に誇る社会システムと技術の革新で新産業を創る Wellbeing Research Campus Tonomachi」  
HP: <https://www.tonomachi-wb.jp/>

# 第16回 Tonomachi Cafe

## 細胞を組み立てて臓器をつくる ～3次元スフェロイドの作製技術とその応用～

講師: 小島 伸彦氏 横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 准教授

コーヒーを片手に最先端の研究について語り合いませんか?  
Tonomachi Cafe では、研究者や事業家等の専門家に話題提供していただき、  
後半は参加者とのざっくばらんな意見交換を行うことで理解を深め、  
多角的な発想を得るきっかけとなることを目指します。ぜひご参加ください。

【開催日時】平成30年11月8日(木) 18:00～19:45  
第1部 企業紹介 (18:00～18:15)  
第2部 話題提供 (18:15～19:15)  
第3部 意見交換 (19:15～19:45)

【会場】川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター  
川崎市川崎区殿町3-25-10  
Research Gate Building TONOMACHI II-1A

【主催】慶應義塾大学(リサーチコンプレックス推進プログラム中核機関)

【共催】川崎市  
公益財団法人 川崎市産業振興財団

【定員】30名程度

【参加費】飲み物代として500円(実費) \*ただし、学生は無料

【お申込締切日】平成30年11月6日(火)

\*お申込み多数の場合は、締切日より前に締め切らせていただく場合もございます。

【お申込先】川崎市 臨海部国際戦略本部 国際戦略推進部 担当: 苗倉・松井

E-mail: [59kokuse@city.kawasaki.jp](mailto:59kokuse@city.kawasaki.jp) TEL: 044-276-9216

\*メールには以下の内容を記載願います。

<件名>第16回 Tonomachi Cafe 参加申込み/氏名

<本文>氏名:

ご所属:(会社・部署・役職/学校・学部)

ご連絡先:(メールアドレス・電話番号)



## Tonomachi Cafe・セミナー概要について

Tonomachi Cafe・セミナー概要について詳しくは、下記HPをご参照ください。

HP: <http://www.king-skyfront.jp/event/>

# 第16回 Tonomachi Cafe 概要

## 【セミナー概要】

我々の臓器は細胞から成り立っています。つまり、細胞を一つひとつ組み立てていけば臓器が再構築できるはずですが、実際にやってみるとなかなか難しい課題です。本セミナーでは、光ピンセット・細胞用接着剤・マイクロ流体デバイスによる臓器づくりの試みから、高分子多糖類であるメチルセルロースを用いたユニークなスフェロイド作製法、ならびにスフェロイド内部に微細構造をつくり込む技術についてお話しします。具体的に肝臓や膵島、精巣について得られた成果を紹介しながら、臓器づくりの可能性について語り合いたいと思います。

## ◆ 講師 ご経歴について

小島 伸彦 横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 准教授  
大阪府寝屋川市生まれ。1998年大阪大学大学院工学研究科修士課程修了（ハイブリッド人工肝臓）、2001年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了（肝臓発生の分子メカニズム）。KAST 宮島「幹細胞」制御プロジェクト常勤研究員、2003年東京大学生産技術研究所酒井康行研究室助手、2007年UCLA およびロサンゼルス退役軍人医療センター上級研究員、2009年東京大学生産技術研究所 BEANS プロジェクト特任助教を経て、2013年より横浜市立大学准教授。2016年攻殻機動隊 REALIZE PROJECT the AWARD 攻殻コンテスト最優秀賞受賞。2017年より研究代表者としてAMED 生体模倣システム事業に参画中。

## 【企業紹介枠】

水野 篤志 JSR株式会社 診断・研究試薬部  
JSR株式会社は、「診断・研究試薬分野」、「バイオプロセス分野」を中心としたライフサイエンス事業に取り組んでいます。JSRグループの医学生物学研究所より販売しているNanoCulture Plate (NCP)は、ライフサイエンス研究者が、容易にかつ再現性の高い三次元培養研究を可能にする、独自技術に基づく製品です。今回の企業紹介では、3次元培養における弊社NCPの特徴と用途を中心にご紹介させていただきます。

## 川崎市キングスカイフロント マネジメントセンター アクセスマップ

